



83. 5. 16

No. 1339

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二二七二〇七

無罪が認められ 5・20判決公判に全力で結集せよ

「6・12事件」

5・20判決公判に全力で結集しよう

「デッチ上げ6・12事件」公判は、来る五月二〇日にいよいよ判決公判が開かれます。

一九八一年六月十二日、動労「本部」革マル反動分子の「暴力をふるわれた」なるデッチ上げ告訴により、津田沼支部の仲間六名が不当逮捕され、不当にも起訴された片岡、吉岡、篠塚三名は、一年十一月におよぶ裁判闘争を全力で闘い抜いてきました。

三名の無罪判決をかちとるために、五月二〇日全組合員が千葉地裁に総決起することを訴えます。

告訴タレコミは

組織争闘戦完敗の自認にほかならない

「6・12事件」とは、動労「本部」革マルがわが動労千葉との組織争闘戦に完敗したことを認めたいものにほかなりません。

七九年三月の分離独立宣言以降、動労「本部」革マルはありとあらゆる手段を使って動労千葉破壊攻撃をくり返しました。すなわち「集団暴力オルグ」、「家庭へのおしかけ」そして当局に処分・弾圧を要求し、それでもつぶせないどころか、「本部派」はわずか数十名足らずという状況の中で、追いつめられた革マル反動分子はついに警察にタレこみ、権力の手をかりた動労千葉破壊の手段に訴えたのです。

これ程、卑劣な反労働者の行為があるでしょうか。

そもそも、4・17津田沼支部襲撃事件をはじめ、ありとあらゆる暴力行為をくり返してきた動労「本部」革マル反動分子に、「暴力をふるわれた」などと騒ぐ権利など一ミリもありません。ましてや労働者を権力に売り渡すなど労働者のかざかみにもおけぬ輩であり決して許すことはできません。

必ずや

「革マル追放・一掃」でこたえるぞ

また、動労「本部」革マル反動分子・嶋田らのタレこみにチャンスとばかりに飛びつき、動労千葉破壊のための大弾圧攻撃を加えた検察・警察権力を絶対に許すことはできません。

権力は革マル分子・嶋田らの一方的告訴をうけ

いきなり六名の仲間を逮捕し、十五日間にわたって不当にも勾留しつづけ転向を強要しました。さらに、家族の就寝中を襲って家宅捜索を強行し、子供が寝ている布団を足蹴にし、タンスやおもちゃ箱をひっくり返すなど、家族に対しても過酷な苦しみを強制したのです。

しかし、片岡、吉岡、篠塚君を先頭に、これを支える家族、そして全組合員一丸となった闘いは、動労「本部」革マル、権力一体の弾圧を完全にはね返したばかりか、一年十一月の裁判闘争は、デッチ上げ性をあますところなく暴露してしました。

公判の中で、検察側は三君が暴力をふるっていないことを認めざるをえず、この一点で無罪は当然であるにもかかわらず、「現場共謀」なるものをデッチ上げ三月三日の第十六回公判において、「懲役六カ月」という絶対に許せぬ反動的求刑を行ったのです。

われわれは満腔の怒りをおさえることはできません。片岡、吉岡、篠塚三君は無罪です。

われわれは、動労「本部」革マルの反階級的行為に対して、必ずや「動労革マル一掃・動労大改革」を実現することでこたえる決意を明らかにするものです。

5・20の判決公判に総力で結集しよう！

「6・12デッチ上げ事件」判決公判
とき 五月二〇日（金） 十五時
場所 千葉地裁
千葉運転区十四時集合

当面するスケジュール

- 5月18日 第14回「組合費」公判・東京地裁
- 5月20日 第17回「6・12」公判・千葉地裁
- 5月22日 三里塚現地全国総決起集会
- 5月23日 狭山中央集会・東京 明治公園
- 5月26日 ボーリング大会・津田沼ファミリア
- 6月2日 春季野球大会・AⅡ千葉市公園球場、BⅡ千鉄更科球場